



# みなみの空

## ♥ 子どもの本心を感じられる大人について考える ♥

スーパーのレジでの光景です。お母さんと5才、3才、0才くらいの子たちがいました。3才の子はショッピングカートに乗り、0才の子はおんぶ。お兄さんは、お母さんの手伝いにカートを押していました。下の子の面倒をよく見ている様子です。買い物かごの中には、野菜や肉などに混ざって、おまけ付きのガムが一つ。お兄さんの目は、ガムにロックオンです。レジのお姉さんが「ピッ、ピッ。」とガムをかごからかごへ移します。お兄ちゃんはお母さんを見上げて言いました。「これ、だれのガム？」

さて、お兄さんはどう言ってほしかったのでしょうか…？あなたがお母さんなら、どう答えますか？考えてみてください。お父さんもお母さんになった気分で考えてください。

お母さんは、イラついた様子で吐き捨てるように答えました。「まだお金払ってないから、お店のだよ！」

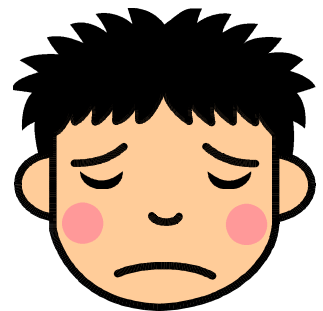
お兄ちゃんは、レジのお姉さんからガムを奪い取るように受け取ると、下の2人の子をにらみつけたのです。お母さんは、お兄ちゃんの頭をたたいて、ガムを取り戻しました…。さっきまでキラキラしていたお兄ちゃんの目は、死んだ魚のようになりました。

きっと、このガムは兄妹の年齢から考えて、お兄ちゃん用だったことでしょう。どうしてこのお母さんは、「このガムは、いつも弟たちの面倒を見たり、お母さんを助けてくれるお兄ちゃんのご褒美だよ。」と言えなかったのでしょうか…。お兄ちゃんは、弟、妹のために一生懸命甘えたいのを我慢していたに違いありません。お母さんが、買ってくれたガムが嬉しかったでしょう。だから、わけの分からない質問をしたのです。

このお母さんは、それを感じることはできませんでした。疲れていたのでしょうか？

私たち大人は、知らず知らずのうちに子どもの柔らかい心を傷つけていることがあるようです。

私たち学校スタッフも、忙しさの中でいつの間にか子どもの心を傷つけることが考えられます。この話は、たかがガム一つのことですが、この積み重ねが子どもの心を良くも悪くもすることを、心に刻んで子ども達と接したいと考えています。子どもの心を大切にするのは、柔らかい心と小さな気づきの繰り返しかもしれません。



## 是非、おいで下さい！ 授業参観・全体会・鼓笛隊発表

授業参観はもとより、今回は5・6年生の子ども達と担任の熱い思いで実現した鼓笛隊の発表があります。前回同様に2回に分散して、どちらの日も鼓笛隊が発表します！

### 12月の主な予定

《コロナウイルス感染拡大状況によって変更の可能性があります》

変更が生じた場合は、関係のご家庭にできるだけ速やかにご連絡申し上げます。

- |        |                      |                  |                   |
|--------|----------------------|------------------|-------------------|
| 1日(火)  | ～2日(水) 特別時程 13:50 下校 | 1月8日(金)          | 始業式 給食なし 11:40 下校 |
|        | 学年末事務整理のため           |                  |                   |
| 3日(木)  | ～4日(金) 授業参観、全体会      | (別の行事に変更)        |                   |
|        | 鼓笛隊発表、14:30 下校       | 1月29日、2月5日のスキー教室 |                   |
| 7日(月)  | 薬物乱用防止教室(6年生)        | ↓                |                   |
| 8日(火)  | 地区児童会                | スノー・イベント(日程は後日)  |                   |
| 23日(水) | 終業式 給食なし 11:40 下校    |                  |                   |